

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並保健所維持管理				整理番号	441		枝番号		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	451	
係名		庶務係			上位施策名				No		
予算事業名		杉並保健所維持管理		コード	45150	健康なまちづくりの推進				22	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		11年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地域保健法						
	保健所および保健医療センター利用者		(2) 杉並保健所設置条例								
	保健所および保健医療センターの保守管理		(3) 杉並区立保健医療センター条例・同施行令								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		保健所および保健医療センターの保守管理		庁舎維持管理		設備管理					
活動指標名(式)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						安全で快適な施設および環境を提供する。			
成果指標名(式)		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標						(1) 不具合件数			
		(2)									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		m <sup>2</sup>	6,426	6,426	6,426	6,426	6,426			
	活動指標(2)		件	12	12	14	14	14			
	成果指標(1)		件	12	12			19			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	91,570	81,235	104,241	80,541	101,740	<b>特記事項</b> <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 平成11年4月竣工開始 述床面積は荻窪保健センターを含む 事業の性質上、目標値は設定しない		
	(内)委託費		千円	65,432	55,238	68,496	52,781	70,739			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.92	0.60	0.60	0.42	0.60			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,356	5,396	5,460	3,822	5,460			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	99,926	86,631	109,701	84,363	107,200			
	単位あたりコスト ÷		円	15,550	13,481	17,071	13,128	16,682			
	財源	受益者負担分		千円		10	1	49			1
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	10	1	49			1
差引:一般財源 -		千円	99,926	86,621	109,700	84,314	107,199				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	77.3	保守委託の見直しにより、施設管理費費を前年度より3.6%削減した。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		南側窓の新設は、予算がつかず未実施。 平成15年度から講堂の目的外利用を開始した。 平成16年度から監視カメラの保守委託契約を開始した。 平成17年度から「杉並区急病医療情報センター」の委託事業の開設により、施設内の「テレホンサービス事業」が廃止となるが、夜間診療とほぼ同じ時間帯の事業であるため、光熱費の節減には到らない。									

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年度開始時は、「休日等夜間急病診療所」を年間を通じて開設したが、平成12年度・13年度の平日は休止となる。平成14年度は平日夜間の「小児夜間急病診療所」を開設した。夜間の開設時間が延長となったため、警備員や駐車場管理の委託費が増大した。平成17年度「杉並区急病医療情報センター」の委託事業の開設により、施設内の「テレホンサービス事業」が廃止となる。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	庁内の案内板が少ないという声があり、随時整備している。 複合施設であるため、来庁者にとって複雑でわかりにくい庁舎となっている。明るく親しみやすい環境づくりを求める声が、区民や区議会から寄せられてきた。
	今後の予測	建物及び設備の劣化等により修繕費および保全費用等の経費が増大する。 各課の事業の増減により維持運営経費も増減する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: 保健衛生行政及び健康都市づくりの核である保健所を利用する区民に対し、安全で快適な施設を提供することは、区民の保健福祉向上に必要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 定期的な保守点検と修繕により、施設設備の不具合の発生を抑制する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 各事業利用で負担があるため、当事業の受益者負担はない。平成15年度から開始した講堂の目的外利用の受益者負担は、条例に基づいており適正である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容: 環境マネジメントプログラムを徹底することにより光熱水費を削減する。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 )	理由: 設備、清掃、警備等について、委託している。  理由または具体的内容: 設備、清掃、警備等について、委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 設備、清掃、警備等について、委託する。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 予算がつき次第、快適な環境を提供するために南側のロールカーテンを遮光性の高いものにする。 継続して職員一人ひとりの節水・節電の意識を向上させる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 複合施設なので、勤務する者の形態が違い経費削減の目的意識の徹底が難しい。 各課の事業に伴い維持経費が増減する要素が大きく、一概に前年と比較できない。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	事業の対象となる施設設備の規模に変化がない。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		画像診断装置維持運営				整理番号	442		枝番号						
担当部課名		保健予防課・各保健センター		コード	150532		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	452				
係名		保健予防係・診療放射線担当				上位施策				名健康なまちづくりの推進		No			
予算事業名		保健所等維持運営		コード	49250		健康なまちづくりの推進				22				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		11年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 結核予防法・同施行令・同施行規則 (3) 杉並区保健センター条例										
	区民・施設利用者		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		結核対策のため保健所・保健センターでエックス線撮影を行うにあたり、被爆が少なく精度の高いCR機器を適切に使用できる状態に管理する。また、データを電子情報として保存し、ネットワークで結ぶことにより受診者の利便性の向上を図る。												
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標													
(1) エックス線撮影検査数		(1) (代)エックス線撮影検査数対前年度比													
(2)		(2)													
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%						
指標	活動指標(1)		枚	6,032	6,192	7,000	5,580	6,500	6,500	85.8					
	活動指標(2)														
	成果指標(1)														
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	59,381	58,777	59,068	58,736	12,336	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) エックス線撮影検査数は、結核予防や事業者健診等の事業によって変化するものであり、維持管理について目標値の設定はなじまない。						
	(内)委託費		千円	7,938	7,938	8,000	7,980	4,010							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01					0.00	1.20	1.50
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	91	90	91	10,920	13,650							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 ++		千円	59,472	58,867	59,159	69,656	25,986							
	単位あたりコスト ÷		円	9,859	9,507	8,451	12,483	3,998							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0					0		
差引:一般財源 -		千円	59,472	58,867	59,159	69,656	25,986								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	79.7	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	99.4								
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		CR機器のリースが16年度末で切れることから、サーバーはデータの互換性の保持と新機種との価格が下がっていることから新機種に更新し、その他の機器は再リースとした。また、CR回線を専用回線から、庁内LANに変えることとした。これらにより、リース料・保守料・回線使用料とも削減できた。													

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年に現在の機器及びネットワークの体制を導入した。15年度から区民健診がすべて医療機関での受診になったため、撮影件数が減少している。なお、CR機器について16年度末にリース契約が切れ、本年度リースすることとなった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	画像をデジタル(電子)保存しているので、フィルムの廃棄(医療法・2年)及び紛失がなくなった。またこのフィルムを添付して医療機関へ区民を紹介することが可能になった。
	今後の予測	医療機関においてもCR機器の導入が進めば、データのやり取りをフィルムでなく電子媒体でできるようになっていくことが考えられる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 結核予防対策に貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 維持管理の成果は機器が円滑に使用できることであり向上の余地がない 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: エックス線撮影については、結核予防法に基づき区が行う検診の費用は無料であり、その他については条例に基づき受診者に応分の費用負担をいただいている。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容: 技術開発やその普及により、機器の再リース料の引き下げが可能であれば、コストが下がる可能性がある。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 )	理由: CR機器の保守点検については民間業者に委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当](具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 実施継続とする。

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 CR機器は結核予防対策の一環としてのレントゲン撮影に使用するものであり、結核対策のあり方によって必要な機器が変わればそれに対応する。また、今回再リースとした機器の更新についても機器の状態を見ながら必要に応じて更新する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 コンピュータ機器であるCRは技術の進歩とそれに伴う低価格化が進んでいるため、適切な時期に更新することによりコストダウンを図る。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 17年度に、CR機器の再リースと、ネットワーク使用料について庁内LANの利用を実施したので変更はない。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		衛生統計調査等				整理番号	443		枝番号	
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	453
係名		庶務係		上位施策名				No		
予算事業名		衛生統計調査		コード	45550	健康なまちづくりの推進				22
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 統計法					
	厚生労働省で無作為抽出した世帯及び世帯員。出生、死亡、婚姻、離婚、死産届のあったもの。		(2) 統計報告調整法							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		(3) 地域保健法							
厚生労働省の各種統計調査(人口動態・国民生活基礎調査等)を実施する。人口動態調査については、調査票に基づき杉並区の統計資料を作成する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）								
活動指標名(式)		各種統計調査を的確に実施することにより、国及び区の衛生統計の正確な基礎資料を作成し、地域保健施策等広く反映させる。								
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 実施調査数		(1) (代)調査件数								
(2)		(2)								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		件	11	6	7	7	10		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		件	22,188	12,911	13,000	17,075	18,000		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,218	942	2,415	1,985	3,248	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 調査内容は厚生労働省より指示があるため、目標値の設定には馴染まない。	
	(内)委託費		千円							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.52	0.50	0.50	0.52	0.50		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,723	4,497	4,550	4,732	4,550		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	5,941	5,439	6,965	6,717	7,798		
	単位あたりコスト ÷		円	540,091	906,500	995,000	959,571	779,800		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円	1,564	1,097	2,134	2,169		3,117
		特定財源計 +		千円	1,564	1,097	2,134	2,169		3,117
差引:一般財源 -		千円	4,377	4,342	4,831	4,548	4,681			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	82.2	予定されていた統計調査が実施された。		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)										

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	地域保健を取り巻く状況は、急速な高齢化、出生率低下に伴う少子化、慢性疾患の増加等によって大きく変化してきた。一方で国民の健康に対する意識の高まりなどがあることから、衛生統計調査の種類・様式などの見直しが行われている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	統計調査に対して、不信感、プライバシーの侵害の意識が強い。
	今後の予測	調査趣旨の理解を得ることができず、拒否する世帯が増加する傾向にある。また、日中不在、オートロックマンションによる訪問の難しさなどから、回収困難な状況が近年は続いている。 統計調査内容について、指定統計(国民生活基礎調査・人口動態調査)については変わりはないが、承認統計(保健福祉動向調査など)については、増減がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 衛生統計調査は統計法で定められた指定統計等であり、厚生行政の基本資料として各種施策に反映されている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であるため、調査目的、対象、規模が定められている。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 受益者負担は無いため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であるため、調査目的、対象、規模が定められている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 ) 協働等の相手 協働等の形態	理由: 衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であるため、区で全て実施する。 統計法、統計法施行例で、市区町村長の事務が定められている。 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	<b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 より多くの区民に統計調査の協力を得るために、調査内容についての周知(広報やホームページ)方法などを検討し、調査票回収率を向上させていくことが急務である。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 調査内容があまり知られていないことからくる不信感やプライバシー保護、防犯意識などにより、区民の理解が得にくい。よって、区民への理解を得るための方策を検討する必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成18年度は17年度よりも調査数が減となるため。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		献血事業の推進				整理番号	444		枝番号			
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	454		
係名		庶務係				上位施策名			No			
予算事業名		保健事業の推進		コード	45750	健康なまちづくりの推進			22			
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		53年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 (2) 杉並区献血等推進連絡会設置要綱 (3) 献血の推進について(昭和39年8月21日閣議決定)							
	16歳～64歳までの区内在住、在勤、在学者。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		献血思想の普及啓発に努め、安定した献血者の確保を図る。									
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 区内献血者数		(1) 区内献血目標(予定)者数と実際に献血した人数の割合(%) 献血者数 ÷ 献血目標(予定)者数 = 献血達成率										
(2) 献血実施回数		(2)										
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	2,952	2,619	5,000	2,404	5,000	5,000	48.1		
	活動指標(2)		回	3	4	4	3	3	3	100.0		
	成果指標(1)		%	59	52	100		100	100	0.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	267	284	259	88	244	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) <b>成果指標</b> 14年度 ・計画 = 5,000人 ・実績 = 2,952人 15年度 ・計画 = 5,000人 ・実績 = 2,619人 16年度 ・計画 = 5,000人 ・実績 = 2,404人 17年度 ・計画 = 5,000人 近年、献血者は減少傾向にあるが、今後も目標値を5000人として、献血の推進に努める。			
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.21	0.21	0.20	0.21	0.20				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,907	1,889	1,820	1,911	1,820				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	2,174	2,173	2,079	1,999	2,064				
	単位あたりコスト ÷		円	736	830	416	832	413				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	2,174	2,173	2,079	1,999	2,064					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	48.1	活動指標(2)の16年度達成率%	75.0	16年度予算執行率%	34.0	献血等推進連絡会及び庁内献血を計画どおり実施した。なお、献血推進キャンペーンについては、連絡会との时期的な協議が整わず、実施を見合わせた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		杉並区献血推進協議会については廃止とし、平成16年度から新たに杉並区献血等推進連絡会を立ち上げた。献血推進事業については、充実を図る方向で実施案を検討中である。										

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	献血者は昭和59年をピークに減少傾向にあるが、400ml献血や成分献血等の制度が施行されてからは、大きな血液不足は生じていなかった。しかし、平成17年2月にクロイツフェルト・ヤコブ病の発生が国内で確認されたことから、厚生労働省を中心に全国の自治体で献血者確保のための対策が進められている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	高齢社会に伴い、血液需要は増加傾向にある。一方で献血者は10代を中心に減少傾向にある。肝炎やHIV検査目的の献血者が増加しているが、そのような目的では受けないう、啓発する必要がある。また、クロイツフェルト・ヤコブ病の発生による献血者の減少を招かないよう、全国的な献血者確保のための施策を講じる必要がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由 )	理由：献血キャンペーン等、献血推進のためのPRを行っているが、献血者は減少傾向にある。また、献血事業の大半は血液センターを中心として行われており、区が行う献血はごく一部である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容：  理由または具体的内容：広報の方法を再検討することにより、区民にも市内献血に協力していただくなど、より多くの献血者を確保する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容：受益者負担は発生しない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容：キャンペーンの見直し等でコストを削減することが考えられる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	理由：  理由または具体的内容：区が行うべき献血推進の役割を明確にするために、血液センター、東京都献血対策担当等と協議していく必要がある。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 区が行うべき献血推進の役割を明確にし、血液センター、東京都献血対策担当等と協議し、献血者の確保に努めていく必要がある。

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果：</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	<b>コスト：</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 献血事業の大半は血液センターを中心として、区内の日赤奉仕団、企業、学校などの協力のもとに実施されており、区が行う献血の割合はごく一部である。今後、広報の方法を再検討することにより、区民にも市内献血に協力していただくなど、より多くの献血者を確保していく。また骨髄移植の推進についても取り組みに加え、さらなる献血等推進事業を展開していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 外部評価委員会からの血液事業の推進については、血液センターに移行すべきとの意見を受けている。区としては、献血等の周知、普及・啓発に力を注いでいく。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	区内献血者数が減少していることや、クロイツフェルト・ヤコブ病の発生による献血者の減少を招かないよう、厚生労働省を中心に献血者確保のための対策が進められていることから、杉並区献血等推進連絡会の運営を引き続き行い、献血等推進事業を展開していく。



# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		覚せい剤等乱用防止推進のための啓発活動				整理番号	445		枝番号			
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	455		
係名 庶務係				上位施策名				No				
予算事業名 保健事業の推進				コード	45750	健康なまちづくりの推進				22		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 55 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施要綱							
	薬物乱用防止推進杉並地区協議会				(2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 厚生労働省、東京都及び(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターが主催する「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施に伴い、社会問題となっている薬物乱用の防止のため、薬物乱用防止推進杉並地区協議会が実施する各種啓発の活動を支援する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並地区協議会が各種啓発活動を円滑に行うことより、区民等の薬物乱用防止に対する見識が高まる。							
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 杉並地区協議会との連絡会等開催回数				(1) 啓発キャンペーン等実施回数								
(2)				(2)								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		回	1	2	2	2	3	3	66.7		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		回	4	3	3	3	3	3	100.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	41	41	25	15	30	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.30	0.40	0.30	0.21	0.40				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,725	3,598	2,730	1,911	3,640				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	2,766	3,639	2,755	1,926	3,670				
	単位あたりコスト ÷		円	2,766,000	1,819,500	1,377,500	963,000	1,223,333				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	2,766	3,639	2,755	1,926	3,670					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	60.0	駅頭キャンペーン配付用のポケットティッシュは、同協議会で全て購入し、区では薬物乱用防止ポスター及び標語にかかる優良賞等の賞品代を支出した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		薬物乱用防止に係る各種の資料や通知を送付するため、郵送料を計上した。										

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並地区協議会は、昭和50年代半ばの「第2次覚せい剤乱用期」に設立され、薬物等乱用防止の推進に努めてきたところであるが、平成10年に「第3次覚せい剤乱用期」への突入が発表されるなど、近年の覚せい剤を中心とした薬物事犯者が増加傾向にある状況のなか、同協議会の活動がより重要となっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	薬物の乱用等による犯罪が増加している今日、杉並地区協議会の活動を一層推進することで、犯罪を未然に防ぎ、安全で平和な区民生活が送れる。
	今後の予測	近年、薬物犯罪の巧妙化、潜在化が言われており、引き続き予断を許さない状況である。薬物の乱用防止には、地域に根ざした活動が必要であり、杉並地区協議会等による啓発キャンペーンをより強力に進めていくことが求められる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 薬物乱用防止のためには、医療、教育、警察等の各分野での取組みが求められており、区が行う啓発活動も必要な取組みの一つである。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 現在は事業の主体が同協議会であり、区は人的支援が中心であるため。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 受益者負担には馴染まない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 今後、区として独自に経費を投入し、事業を展開していくため。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	理由: 理由または具体的内容: 同協議会が実施する「駅頭キャンペーン」、「ポスター・標語の募集及び表彰」、「薬物乱用者収監施設等への視察」において、準備はもとより、キャンペーン参加、ポスター・標語応募者の賞状作成、賞品の購入などで協力している。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 平成17年度の保健福祉部の重要課題として、「未成年者等の飲酒・喫煙・薬物乱用防止策」を掲げた。区として薬物乱用防止推進杉並地区協議会をはじめとする区内各団体との協働により、薬物乱用防止策を積極的に推進していく。

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	<b>コスト:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年度の保健福祉部の重要課題として、「未成年者等の飲酒・喫煙・薬物乱用防止策」を掲げた。重要課題を推進していく中で、薬物乱用防止推進杉並地区協議会との役割分担を明確にしながらも、人的支援のみならず、区としての薬物乱用防止策を協働して積極的に展開していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	区として薬物乱用防止策をより積極的に推進していく中で、必要な経費については予算措置していく。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		医師会・歯科医師会・薬剤師会等への補助				整理番号	446		枝番号		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	456	
係名 庶務係				上位施策名				No			
予算事業名 保健事業の推進				コード 45750		健康なまちづくりの推進				22	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区医師会、杉並区歯科医師会、杉並区薬剤師会、杉並区接骨師会、杉並区歯科技工師会				(1) 杉並区健康保持事業補助金交付要綱 (2) 医療技術研修補助金交付要綱 (3) 杉並区地域医療連携推進委員会運営費補助金交付要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 事業対象団体が実施する区民健康保持事業、医療技術研修事業、地域医療連携推進委員会運営費に対し、補助金を支払う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 医師会・歯科医師会・薬剤師会が実施する健康保持事業を支援することにより区民の健康保持増進等を図る。また歯科技工師会・接骨師会が実施する医療技術研修事業を支援することにより、会員の資質向上を図る。地域医療連携を推進し、区民の福祉向上に寄与する。						
	活動指標名(式) (1) 補助金申請数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)実施事業件数 (2)						
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		件	7	7	7	7	6	6	116.7	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		件	28	31	31			30	0.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,340	7,340	6,980	7,340	5,340	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.21	0.20	0.20	0.20	0.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,907	1,799	1,820	1,820	1,820			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	9,247	9,139	8,800	9,160	7,160			
	単位あたりコスト ÷		円	1,321,000	1,305,571	1,257,143	1,308,571	1,193,333			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	9,247	9,139	8,800	9,160	7,160				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	105.2	予算額と比較して100%の申請額であり、事業報告も同様である。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)											

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初は健康保持事業に対する補助金で始めたが、平成2年度から医療技術研修に対する補助金、平成4年度から地域医療連携推進委員会に対する補助金を追加した。 平成11年度から3ヵ年、看護学校に対する補助金を除き、削減してきた。 平成17度からは医師会附属看護学校の閉校に伴い、看護学区への補助金を廃止した。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特に無い
	今後の予測	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 本事業費は補助金という性質上、直接成果を出すことはないが、各師会が行っている事業は区民の健康保持に大きな成果をあげていると考えられる。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 補助金であるため、受益者負担には該当しない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 各師会の事業内容の検証、見直しにより、補助金を精査していく考えられるが、当面は現状維持である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: 区民の健康保持のために、医師会、歯科医師会、薬剤師会では、講演会の開催、パンフレットの作成、相談会などで、普及啓発を行っている。また、接骨師会、歯科技工士会では、各会員の資質向上のために、研修会を行っている。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 現状維持

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民への普及啓発活動を中心とした健康保持事業や、会員の資質向上を目的とした医療技術研修事業は直接区が行っているものではなく、各団体の事業として行っているものであるため、成果が見えにくい。しかし区民の医療知識を高め、健康保持を図ること、より技術力の高い治療を受けることのできる環境を整えていくことは区の責務である。また、地域の医療連携体制を構築することで区内医療機関における対応力の向上が図られる。従って、今後も各団体に対しての補助を継続する。 一方で各団体の事業内容の検証、見直しなどを行い、補助金額の削減の可能性を模索していく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成16年度をもって医師会付属看護高等専修学校が閉校した。これに伴い、17年度には看護学校に対する補助金を削減した。18年度については、縮小、削減予定はないため、現状維持である。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区地域保健推進協議会の運営				整理番号	447		枝番号		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	457	
係名 庶務係					上位施策名					No	
予算事業名 保健事業の推進					コード	45750		健康なまちづくりの推進		22	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区地域保健推進協議会設置要綱						
	委員対象: 学識経験者、区内各団体の推薦委員、公募委員				(2)						
	委員対象: 学識経験者、区内各団体の推薦委員、公募委員				(3)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区民の健康づくりに関すること、地域保健医療計画の推進に関する こと。保健・医療・福祉の連携に関すること。保健所及び保健センター の運営に関すること。その他、地域保健の推進に関することについて の協議を行う。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区における地域保健推進施策及び保健所の運営等につ いて、各団体(区民)の代表である委員により、課題等を協議す ることで区民の健康保持・増進を図る。						
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 協議会開催回数					(1) (代) 協議会(議事)件数						
(2)					(2)						
区分		単位	14年度 実績	15年度 実績	16年度		17年度 計画	目標値 19年度	目標値に対 する16年度 の達成率%		
指標	活動指標(1)		回	2	1	3	3	3	2	150.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		件	10	6	15	16	15	10	160.0	
	成果指標(2)										
総事業費・ コスト把握	事業費		千円	473	174	543	409	543	<b>特記事項</b> <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 事業の性質上目標値を設定することは難しい。		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.21	0.10	0.10	0.11	0.10			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,907	899	910	1,001	910			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	2,380	1,073	1,453	1,410	1,453			
	単位あたりコスト ÷		円	1,190,000	1,073,000	484,333	470,000	484,333			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引: 一般財源 -		千円	2,380	1,073	1,453	1,410	1,453				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16 年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年 度達成率%		16年度予算 執行率%	75.3	当初の予定どおり、3回の協議会を実施した。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額してい る場合、関連する新規事業がある場 合にはその概要も明記)											

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成9年に、保健所運営協議会を廃止し、保健所運営協議会、健康づくり推進協議会の性格を併せ持つ杉並区地域保健推進協議会を設置した。平成13年度からは、区内の救急医療体制充実を図るため、地域保健推進協議会救急医療検討部会を設置し、平成13年度は小児初期救急、平成14年度は杉並区の救急救急について検討した。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	委員からは、地域保健医療計画、保健・医療・福祉の連携、区民の健康づくり施策等について、貴重な意見を頂戴している。
	今後の予測	杉並区における医療の充実、及び区民の健康保持を協議するとともに、保健所、保健センターの運営に際し、幅広い分野からの意見を伺うためにも、今後も地域保健推進協議会を継続する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由：地域保健施策及び保健所の運営について、幅広く区民や関係団体の意見を聴き、区民の健康保持・増進に務めている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容：経費は、委員謝礼のみのため、現状のままである。 理由または具体的内容：
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容：受益者負担は発生しない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容：経費は、委員謝礼のみのため、現状のままである。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )	理由： 理由または具体的内容：杉並区地域保健推進協議会は、区内の各団体からの推薦を受けた委員により構成されている。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 引き続き、区内の各団体からの推薦を受けた委員により、協議会を運営していく。

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果：</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト：</b> <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「特別区における地域保健医療計画推進協議会設置・運営指針」が廃止されたことから、地域保健推進協議会の設置が任意になった。しかしながら、杉並区における地域保健の充実、及び区民の健康保持を協議するとともに、保健所、保健センターの運営に際し、幅広い分野からの意見を伺うためにも、今後も地域保健推進協議会を継続していく必要がある。ただし、開催回数については、議題の状況により、減らすことも視野に入れていく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 外部評価委員会から杉並区地域保健推進協議会の運営については廃止すべきなど、更なる効率化を求める意見を受けている。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 杉並区における地域保健推進施策や保健所の運営等について、杉並区地域保健推進協議会がこれまで果たしてきた役割は大きい。外部評価委員会からの意見を踏まえながら、引き続き同協議会を運営していく。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健所専門職員等による研修事業				整理番号	448		枝番号		
担当部課:杉並保健所健康推進課		コード	150101		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	458		
係名 庶務係		上位施策名						No			
予算事業名 保健事業の推進		コード	45750		健康なまちづくりの推進				22		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地域保健法								
	保健衛生に関する知識を必要とする区職員及び関係団体職員		(2) 杉並区杉並保健所専門研修事業実施要領								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(3)								
上記対象者に保健衛生に関する専門研修を実施する。また、保健所の技術・専門職の知識を活用するため、講師は原則として保健所の専門職で対応する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
活動指標名(式)		保健衛生に関する知識を必要とする区職員及び関係団体職員等の資質の向上を図り、区民福祉の充実に役立てることを目標とする。									
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 講座開催数		(1) 受講生のうち、アンケート等により成果があったと答えた人の割合(%)									
(2) 講座参加者数		(2)									
区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	回	5	4	4	4	4				
	活動指標(2)	人	329	244	250	213	250				
	成果指標(1)	%	83	72	80	87	80				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	140	117	158	67	158	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費	千円									
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.21	0.20	0.20	0.21	0.20				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,907	1,799	1,820	1,911		1,820		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0		
	総事業費 + +	千円	2,047	1,916	1,978	1,978	1,978				
	単位あたりコスト ÷	円	409,400	479,000	494,500	494,500	494,500				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0		0		
差引:一般財源 -		千円	2,047	1,916	1,978	1,978	1,978				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	85.2	16年度予算執行率%	42.4	研修内容が多岐にわたり、組織間の調整が困難なものであった。部内の各事業を掌握し、調整する必要がある。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		保健衛生・高齢者・障害者・児童福祉分野が部として統合されたことによる研修の整理統合をさらに推し進め、効率的な研修の企画及び実施のための検討が引き続き必要である。									

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	主として高齢者・障害者分野等の研修を実施してきたが、高齢者分野は介護保険の導入に伴い、介護予防研修の必要性が生じている。また、NPO等住民参加型の中小事業者が増加するなど、区民を取り巻く状況が変化している中で、介護をするための知識や技術の向上、薬物の乱用防止等に保健所としてアプローチしていく必要性が生じている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	関係団体等の中には、独自の企画が難しく、十分な研修を組めない所が多く、多彩な専門職種を有する保健所への期待は大きい。
	今後の予測	保健福祉部他課とも連携をとりながら、より効果的な研修を開催し、関係団体職員等の資質の向上に取り組む必要がある。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:研修を通じて、保健衛生に関する知識を必要とする職員の資質の向上が図られることにより、保健所はもとより高齢者・障害者・児童など関係分野全体の底上げに寄与し、NPOの発足等に結びつい
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:区職員への研修、直接区民との関わりの深い関係団体職員への研修を行うことにより、保健所が保有する技術・専門的知識を広く区民のために有効に活用することができる。 理由または具体的内容:他の研修、事業の日程を把握し、より多くの参加者が受講できるよう調整する。また、受講後のフォロー研修などで知識の範囲を広め、より深いものにしていく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:日々の業務の中で保健衛生の知識を必要とする区職員及び関係団体職員の資質の向上を図るために区が実施するものであり、受益者負担には馴染まない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:研修の企画運営全てを含んでおり、削減した結果である。

協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 ) 協働等の相手 協働等の形態	理由または具体的内容:保健センター機能のひとつ「専門的技術的支援」としての事業であるため。 理由または具体的内容: 理由または具体的内容:
--------	---	---

協働等のあるべき姿	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み
-----------	----------------------	---

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 保健衛生・高齢者・障害者・児童福祉分野において、各々の課がそれぞれ独自の研修を行っており、類似の内容もみられた。平成13年度、部が統合されたことにより、保健福祉部各課で行ってきた研修について再検討し、整理統合することによって効率化を図ってきた。平成18年度以降も現体系の研修事業を実施する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 研修内容が多岐にわたり、組織間の調整が難しい。部内の各事業を掌握し、調整する必要がある。	

18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	研修の効率の実施の検討を進めるとともに、認知症対策研修や在宅栄養士研修等を継続して実施するため。



# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康都市の推進			整理番号	450		枝番号			
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101		連絡先電話番号	4524			
係名		庶務係		上位施策名				No			
予算事業名		保健事業の推進		コード	45750		健康なまちづくりの推進		22		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成 12 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 健康増進法 (2) 21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21) (3) 地域保健対策に関する基本的方針						
	全ての区民、団体、企業				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		・健康都市杉並ファロは、中央イベント(講演会、表彰式等)、地域イベント(各保健センターごと)、協賛イベントを区民・関係団体と協働し開催する。 ・健康都市の実現を目指す杉並区の現状を把握して、取組みの評価を行い、今後の道筋を検討するため、健康都市指標を設定し、関連データを含めた健康都市白書を年1回発行する。		健康都市の理念の共有、地域ネットワークの充実、総合的な健康政策推進のためのシステム整備。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) イベント参加者数				(1) (代) イベント参加者数							
(2) 健康都市白書発行部数				(2) (代) 健康都市白書発行部数							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	27,421	27,215	5,000	4,739	5,000	5,000	94.8	
	活動指標(2)		部	500	600	600	1,000	700	700	142.9	
	成果指標(1)		人	27,421	27,215	5,000	4,739	5,000	5,000	94.8	
	成果指標(2)		部	500	600	600	1,000	700	700	142.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,412	3,018	4,788	3,446	4,477	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 職員数は管理課16年度実績0.86、17年度0.80、健康推進課16・17年度0.8 理念の浸透が目標。将来的な数値設定は、目標になじまない。成果指標名(2)は平成15年度から変更。健康都市杉並ファロの16年度計画・実績は、環境博覧会すぎなみ2004やすぎなみスポーツまつり等の参加者数を除き算出。		
	(内)委託費		千円	2,384	1,468	3,226	2,543	2,956			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.83	1.80	1.50	1.86	1.86			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,539	16,189	13,650	16,926	16,926			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	10,951	19,207	18,438	20,372	21,403			
	単位あたりコスト ÷		円	399	706	3,688	4,299	4,281			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	10,951	19,207	18,438	20,372	21,403				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	94.8	活動指標(2)の16年度達成率%	166.7	16年度予算執行率%	72.0	健康都市杉並ファロは、概ね節減が達成された。			
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		健康都市杉並ファロは、14年度から実質的な事業(予算面は15年度から)が保健福祉部管理課に移管されたが、16年度から再び健康推進課に移管された。主管課の違いによりおのずと事業展開も異なるが、保健福祉部として一層連携を深めるとともに、地域や事業所との協働を推進していく視点で取り組んでいく。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	健康都市杉並の推進基盤整備を図るため、平成12年度より全く新しい考え方の企画として実施。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	中央イベントと地域イベントの開催までそれぞれのイベントを担う役員が重複することから、負担が大きいため、両イベントをつなげる何らかのしくみや行事が必要ではないかなどの意見が出される。
	今後の予測	健康都市基盤整備は、広範囲かつ細部に渡る展開が求められる事業である。区民が主体となった事業展開を優先的に考えることが健康都市の理念普及に効果的であると考えている。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	健康なまちづくりの理念の共有化を図るなど健康都市杉並の推進基盤を整備する事業であり、健康なまちづくり推進、健康を支えるまちづくりのために大きく貢献するものである。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[事業の統廃合](具体的内容 )	理由または具体的内容:現在の予算は、事務経費分のみであり、現在実施されている事業に関して削減は難しい。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )	・ファロにおける協働の相手方は、まず、健康づくり地区会連絡会、健康づくりの各自主グループ、その他福祉関係区民団体等であり、協働の形態は、企画検討会等である。また、健康都市に協賛している法人、区民団体は、協賛イベントを独自に開催する形態で参加している。 ・健康年白書は、調査や報告書原稿作成、冊子の印刷などを業者に委託している。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 健康都市杉並の創造は、あらゆる分野の施策に健康の視点を取り入れて、より多くの区民団体などの地域活動と連携し、かつ、継続的に取り組むことが必要である。

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在の方法を大きく変更することはないが、区民がより主体的に係われるよう、区民の学習と自覚を促していくことが改革につながると考える。そのため、保健センターとの連携を深めより一体的な事業展開が必要である。区民の学習においては、健康都市指標など用いて、目に見える数値により具体的なイメージを持ってもらうことも一つの方法と考える。時期的な明言はできない。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区のあらゆる施策に健康都市の理念を取り入れ、その理念や健康都市の現況について分かりやすい広報に勤めることで、より多くの区民団体等との協働が可能となる。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 健康都市杉並を推進するために、これまでの事業展開を継続する。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		喫煙対策の推進				整理番号	456		枝番号		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	466	
係名				健康推進係				上位施策名		No	
予算事業名				喫煙対策		コード	46550		健康なまちづくりの推進		22
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				15年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 健康増進法第25条 (2) 杉並区における喫煙対策指針 (3)				
	全区民および区立施設、区内公共的施設						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				公共的施設などに禁煙実施表示プレートを作成配布し、望まない受動喫煙を避ける環境を整備する。喫煙防止ポスター・標語の作成をとおして、小中学生のたばこによる健康被害の認識を深めるとともに、小中学校の教育媒体の整備を行う。また、保健センターで禁煙サポートのための情報提供システムを整備する。また、他の部署と協力して対策を進める必要から全庁的な調整は喫煙対策部会を通じ行う。		区立施設を含む公共的施設の分煙化を推進し、利用者の望まない受動喫煙を避ける。 学校関係各部署と連携し、未成年者への喫煙防止対策を推進し、未成年者の喫煙経験をなくす。 情報提供を通じ、最も適切な禁煙方法を伝え、禁煙希望者をサポートする。				
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 未成年者の喫煙防止ポスター・標語の応募数						(1) 喫煙をしている人の割合					
(2) (仮)分煙・禁煙実施表示プレートの配布数(累積)						(2)					
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		件	25	50	188	250	280	67.1		
	活動指標(2)		件				500	1,500	0.0		
	成果指標(1)		%	28.8	28.0	28.8	28.0	25.0	115.2		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,931	2,460	1,638	2,735	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 16年度成果指標で、喫煙をしている人の割合は16年度未調査だったことから、前年度の調査数値を転用した。17年は調査実施予定。また、喫煙経験のあるものの割合(区立中学校1年生)は隔年調査であることから削除した。活動指標(2)は17年度から配布予定。			
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.86	0.86	0.82	0.79				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	7,735	7,826	7,462				7,189
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	0	10,666	10,286	9,100				9,924
	単位あたりコスト ÷		円		426,640	205,720	48,404				39,696
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	0	10,666	10,286	9,100	9,924				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	376.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	66.6	未成年者喫煙防止ポスターが見積り額を大きく下回る金額で作成できたこと、配布チラシの全てを市内印刷で対応したこと、小中学校へ配布する教育媒体の単価が見積り額を下回ったことから大幅な予算削減ができた。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		小中学校への喫煙防止教育媒体の整備は、16年で終了したが、17年から禁煙実施プレートの配布を行う。(3か年、1,500件)									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年の健康増進法施行に従い、公共的施設の分煙化が進みつつあるが、飲食店などの店舗での分煙・禁煙実施状況は進んでいるとは言い難い。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区立施設は全面的に禁煙すべきとの要望がある。反面、喫煙者からは喫煙可能な環境の整備を望む要望がある。
	今後の予測	たばこに関する区民要望などの諸問題は、環境医学をはじめ最新の医学的知見などや社会道徳などの影響を受けやすいが、今後、建物だけでなく路上など地域での分煙化推進に関して、喫煙者、非喫煙者双方から対策強化の要望が強くなることが考えられる。また、他の多くの分野・部署との連携の強化が対策の推進に不可欠となる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: たばこ・喫煙の問題に様々な視点から取り組むことで、たばこによる健康被害を減少し、健康都市の実現に向け貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: NPO・企業等との協働により、分煙化の推進、禁煙サポートで効果をあげることが可能と考える。
	(3) 受益者負担の見直し余地は	理由または具体的内容:
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 現在のところ受益者負担となるものはない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容 )  協働等の相手 協働等の形態	理由: 喫煙者、非喫煙者双方の健康増進の視点から喫煙対策を進めるにあたって、家庭や地域を包括的にとらえ推進していく必要があり、販売店や企業の協力が必要である。また、禁煙希望者のサポートにはNPOなどの協力が不可欠と考える。しかし、喫煙をする自由などの複雑な課題もあり、行政も相応の実行と責務を果たす必要がある。NPO・企業等と行政が互いに担うべき役割について協議・検討した経緯はなく、今後の検討により互いを主体とした協働が可能である。  理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: NPO・ボランティアだけでなく、企業、個人事業者、公益団体など幅広い協働が不可欠である。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 分煙化推進のため飲食店などへ禁煙実施表示プレートを17年度から19年度までの3年間で延べ1500枚配布する。また、その他の公共施設、地域の分煙化推進のための具体策について検討・実施する。 禁煙サポートを推進するための情報整理と効果的な情報発信の方法についての検討を継続的に行う。 あわせて区民やNPO、企業等との協働についての具体的方法の検討を開始する。 また、今後、未成年者の喫煙防止対策は、飲酒、薬物の問題とあわせて実施する方向で検討調整する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各部署を連携するだけでなく、たばこの流通・販売業者、飲食店や小売業者等、また医療関係団体、消費者団体などとの幅広い協議調整と喫煙者、非喫煙者双方の意見を取り入れた施策の展開などを行っていく必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 未成年者に係る部分は、今後、未成年者の飲酒、薬物防止対策とともに実施するよう18年度中に調整する。また、禁煙実施プレートの作成経費が必要となる。	

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康づくり推進員				整理番号	457		枝番号			
担当部課名		健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	467	
係名		健康推進係				上位施策名				No		
予算事業名		健康づくりの推進		コード	46550		健康なまちづくりの推進				22	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		9年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 国民の健康・体力増強対策について (2) 国民の健康づくり地方推進事業 (3) 杉並区健康づくり地区会補助金交付要綱							
	健康づくり推進員の健康なまちづくり活動拠点(区内9地区会)		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		健康づくり地区会ごとに健康づくり推進員が定例会議を通じて地域特性を活かした活動計画を作成する。計画に基づいて、健康情報提供のための講座等を運営し地域住民に参加を促す。また、健康なまちづくりを課題に町会・自治会をはじめ他団体との交流や学習会を企画・実施する。									
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 定例会議開催回数		(1) 地区会事業参加人数										
(2) 地区会事業開催回数		(2)										
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		回	59	102	90	92	90	90	102.2		
	活動指標(2)		回	72	64	45	73	45	45	162.2		
	成果指標(1)		人	2,388	2,159	1,350	3,972	1,350	1,350	294.2		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,773	887	894	860	894	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	0	0	0		0				
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.20	4.13	3.43	3.46	3.60				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	29,066	37,145	31,213	31,486	32,760				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	31,839	38,032	32,107	32,346	33,654				
	単位あたりコスト ÷		円	539,644	372,863	356,744	351,587	373,933				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	31,839	38,032	32,107	32,346	33,654					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	102.2	活動指標(2)の16年度達成率%	162.2	16年度予算執行率%	96.2					
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成15年の健康づくり推進員発足式から2年目の活動として地域でのさまざまな企画が主体的に活発に展開され、地域住民の参加も増えた。地域の健康課題や健康なまちづくりへの話し合いにも、主体的に働きかけていく意識が醸成され、地域団体への働きかけや交流も盛んになった。										

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成9年に委嘱方式で始めた健康づくり推進員の制度であるが、平成13年度からは主体的に地域の健康なまちづくりを推進する団体として、活動助成金のみで無料ボランティアとして区内9地区に分かれて活動を展開している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	地域で暮らす人達の広範な健康感や身近な会場による企画や講座の実施は、地域住民の視点で受け入れやすく参加しやすい。講師交渉や調整連絡などの活動に必要な経費については実費弁償してほしいという意見がある。
	今後の予測	主体的な活動が、さまざまな地域団体との交流や意見の交換活動への広がりへと発展していくことで、地域住民の合意による健康なまちづくりが具体化されていく
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 健康を支えるまちの実現に向け、区民の健康づくりを身近な社会の中で支えていけるよう自主的な地域活動の充実を図る施策に大いに貢献している。地域からの健康都市を発展させている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 無料ボランティアであるが、自分たちの地域を健康なまちにしていくという自己実現の喜びに支えられ活動を発展させている。区や地域からの活動の重要視及び表彰等も必要。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 地域の主体的な活動への助成である。運営方法は、地域住民の決定であり、催しの内容によっては受益者負担を実施している。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 活動助成の補助金は、すべて事業費として使われ、推進員は無料ボランティアとして活動している。現在でも活動費不足への推進員の不満がある中コストは下げられない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: 地域への健康都市の実現に向けての普及活動としてのファロ地域イベントや地域の交流会の企画運営など行政との協働により推進されている。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 地域のさまざまな団体や企業を巻き込み、自分たちの健康を支えるまちの環境や仕組みづくりに向けた合意形成がはかれるよう、活動を発展させる。

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地区会活動を支援し講座の企画や各保健センターで実施する地域イベントにおける地域への健康づくりの普及や地域団体との交流を通じての健康なまちづくりへの話し合いなど、合意形成による健康なまちづくりが少しずつ根付いてきた。こうした活動を、さらに各町会ごとに普及し、より多くの区民との協働による健康なまちづくり活動への発展をめざす。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 合意形成による健康都市を地域から具体化するために、職員の意識や目標の共有化と、地域の実態を把握する努力が必要となる。 課を超えた部門間の連携体制による地域への情報を共有化できるようにする。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 地域の高齢化の問題、地域の健康を支える環境問題、ライフスタイルが多様化する中で子どもや働き盛りの健康的な生活習慣を支えるまちのしくみなど、地域で取り組まなければならない新たな健康課題が顕在化してくる。こうした課題を各々の地区会で話し合いながら、地域住民や団体、企業等も巻き込み合意形成による健康都市の実現に向けた働きかけを発展させる。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域健康づくり支援事業				整理番号	458		枝番号		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	468	
係名 健康推進係					上位施策名				No		
予算事業名 地域健康づくり支援事業					コード	46550		健康なまちづくりの推進			22
事務事業の概要	事業開始年度 ○ 昭和 ● 平成 9 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 地域保険法第6条						
	健康づくり自主グループ活動を希望する区民				(2) 国民健康づくり地方推進事業実施要綱						
	健康づくり自主グループ活動を希望する区民				(3) 地域健康づくり支援事業実施要領						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 保健センターで行う講座等の修了者に、自主グループ結成を促し健康なまちづくりに向けた自主的な活動が展開できるよう育成支援する。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 健康づくり自主グループを多数誕生させ、その成熟を目指して支援することにより、地域で主体的に活動する自主グループが増加する。こうした自主グループによるネットワーク活動から合意形成による健康都市の実現をはかる。						
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 新規誕生自主グループ数					(1) 自立した(発足後3年経過)健康づくり自主グループ数 / 平成13年度に誕生したグループ数						
(2) 共同事業実施回数					(2) ネットワーク交流会参加グループ数 / 支援中の自主グループ数						
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		グループ	14	28	20	17	20	20	85.0	
	活動指標(2)		回	17	22	25	25	25	25	100.0	
	成果指標(1)		%	78	70	60	32	60	60	53.3	
	成果指標(2)		%	125	145	90	104	90	90	115.6	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,102	1,122	1,647	1,086	1,647	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	4.98	5.26	5.58	5.29	5.37			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	45,233	47,308	50,778	48,139	48,867			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	46,335	48,430	52,425	49,225	50,514			
	単位あたりコスト ÷		円	3,309,643	1,729,643	2,621,250	2,895,588	2,525,700			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	46,335	48,430	52,425	49,225	50,514				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	85.0	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	65.9	共同事業の予算執行が低率になったことについては、企画内容が、専門職員での対応などにより講師謝礼を節減できたことによる。		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			健康づくり自主グループ発展段階別支援システムの構築のため、検討を開始した。より充実したグループ支援を行うために、自主グループの活動歴、支援計画などの情報を総合的に分析し、マニュアルづくりに向けた取り組みを行った。								

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	各保健センターの自主グループが毎年誕生、発展させて健康づくり活動を推進してきた。さらに、平成12年に自主グループ各保健センター代表組織「杉並健康ネットワーク」が結成し、地域団体や住民むけ講演会等を企画運営し、「健康都市」の実現をめざし活動を展開している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・健康づくり自主グループの活動について、また保健センターの自主グループへの活動支援について積極的に住民に周知すべき。(定年退職後の地域の健康づくり活動による生涯現役を目指す)・自立グループになっても、活動の場の確保や職員の支援を継続してほしい。
	今後の予測	自立グループも増加により、地域への健康的な活動の普及や発信も視野に入れたグループ活動への発展が期待される。「杉並健康ネットワーク」の活動の充実により、健康なまちづくりへの積極的な取り組みなど協働の対象としての活動がさらに発展する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:健康づくり自主グループの活動支援から、住民の主体的な活動が発展し、健康なまちづくりに向けた住民参画につながっている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容:健康づくり自主グループとの共同事業は、住民企画によるさまざまな場や機会での講座の運営を可能にし、対象を広げることが可能となる
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:すでに受益者負担を導入しているため
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:すでに最低限のコストで実施している
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( へ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( へ ) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: 事業の対象者(健康づくり自主グループ)が協働相手となるように支援している事業である。また、健康づくり事業としての講座の企画及び「健康都市杉並」推進イベント等では、協働が実現している。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( へ ) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 自主グループに地域の実情を踏まえた健康づくり事業の具体的な企画や実施に積極的な参画を促し「健康都市」の実現に向けた推進力とする。

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	<b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 自主グループの活動や学習への支援を通じて、個人の健康づくりから健康なまちづくりに向けた活動へと、力量向上が確実に図れるよう、必要な情報を積極的に提供するとともに、支援活動の優先順位を明確にし、効率的な運営を図る。杉並健康ネットワークの活動から、各保健センター間の交流をはかり主体的な健康づくり活動を発展させる。	
	(2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 自主グループの代表者で構成される杉並健康ネットワークの活動を活性化することで各自主グループ相互の交流と協働を推進し住民の主体的な健康づくり活動を発展させる。 担当職員の支援技術を図り、当事業の効果を上げる。	
18年度方針	(1)18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	職員の支援技術の向上により対応し、予算の増減はない。



# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特定給食施設指導				整理番号	463		枝番号		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	473	
係名		健康推進係			上位施策名				No		
予算事業名		特定給食施設指導		コード	46950	健康なまちづくりの推進				22	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		27 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 健康増進法第18条の2、第20条、第21条の3、第22条 (2) 杉並区健康増進法施行規則第3条、第4条、第5条 (3)						
	特定給食施設及び栄養管理指導の必要な給食施設		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		給食施設等への指導を通じて喫食者の健康の保持増進を図る。各特定給食施設等が健康に配慮した給食の提供と健康情報の提供を行うことで、喫食者が主体的に健康づくりを行う知識を習得できる施設になる。								
	活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 施設への巡回指導及び来所指導件数		(1) 基準栄養量に見合った給与栄養量を確保している施設数 / 栄養報告書提出施設数									
(2) 講習会参加者数		(2) 喫食者に栄養及び健康教育を実施した施設数 / 栄養報告書提出施設数									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		施設	143	87	100	63	100	100		
	活動指標(2)		人	141	144	150	152	150	150	101.3	
	成果指標(1)		%	59	51	70	76	60	70	108.6	
	成果指標(2)		%	73	50	70	71	60	70	101.4	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	351	326	361	271	361	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.67	0.92	0.77	0.77	0.87			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	6,086	8,274	7,007	7,007	7,917			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	6,437	8,600	7,368	7,278	8,278			
	単位あたりコスト ÷		円	45,014	98,851	73,680	115,524	82,780			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	6,437	8,600	7,368	7,278	8,278				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	63.0	活動指標(2)の16年度達成率%	101.3	16年度予算執行率%	75.1	前年と同じくほぼ目標を達成した。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		改革案の取り組みとして16年度も重点指導施設の児童福祉施設に栄養管理等や「食育」実践のために技術提供を行った。毎月児童部会を定例化し相互に情報交換し、「みんなの栄養展」でも積極的に取り組むように支援した。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	近年、外食利用の増加等により集団給食の役割が変化してきた。給食運営においては、朝食欠食者の増加や嗜好偏重等飽食対策が求められ食教育に重点が置かれ始めた。本事業の根拠法令であった栄養改善法が健康増進法に改められ、提供する給食の栄養管理の充実から喫食者の健康管理に直結した給食提供へと給食運営の主旨が変更された。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫食者への栄養教育のアセスメントや職場等の人間関係についての講習会がよかった。</li> <li>・高齢者施設で摂食障害者に形態を変えても味が変わらない調理法を知りたい。</li> <li>・給食施設を委託した場合の委託側と職場側の栄養士の栄養管理のあり方、手法を知りたい。</li> </ul>
	今後の予測	働き盛りへの給食を提供する大規模施設においては、生活習慣病予防への配慮や対策にむけた健康教育の支援が重要となる。また、児童、青少年に関わる施設においては引き続き食育の推進に向けた取り組みが重要になってくる。また高齢者施設の介護予防を視野に入れた健康教育も必要になってくる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 給食を通して、区民の食習慣改善、生活習慣病予防のきっかけ作りの場として重要であり、健康なまちづくりの推進施策につながるものであるが、施設側の理解、協力と行政の地道な努力を要する。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか 成果向上のための方策	理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は	理由または具体的内容: 事業として、受益者負担を導入する性格の事業ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容: 最低限のコストで事業を行っている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	理由: 健康増進法に基づく自治事務であるが、可能な業務については集団給食研究会等との協働で実施している。  理由または具体的内容: 集団給食研究会との協働により、給食施設の栄養管理や健康増進への働きかけが効果的に行われるよう講習会の企画運営をおこなっている。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 区内給食施設の効果的な栄養管理と主体的な健康づくり活動を継続発展させていく

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	<b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業を効果的に推進するため、2年毎に重点施設を決め対応している。児童福祉施設に対しては食育の推進に向けた取り組みを今後も継続する。また大規模施設の成人層の多い施設に対しては、喫食者の健康的な食の選択に向けた健康教育のための媒体や技術提供を支援していく。また集団給食研究会との協働により、給食施設の効果的な栄養管理及び主体的な区民の健康づくり活動を推進する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区内223施設の給食施設のうち個々に施設の把握及び栄養管理が必要な施設は112施設ある。個々に対応が必要な施設指導であるが効率化を図りながら実施していく。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	法律の基づく巡回栄養指導が必要な施設の健康実態及び健康課題把握する。協働による効果的な取り組みにむけて努力する

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ヘルシーメニュー推奨店				整理番号	470	枝番号			
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	480		
係名				健康推進係				上位施策名		No	
予算事業名				健康づくりの推進		コード	46550	健康なまちづくりの推進		22	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) ヘルシーメニュー推奨店実施要綱 (2) (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				「ヘルシーメニュー推奨店」を認証し喫食者の健康に配慮する飲食店を区内に増やす。区民の健康的な食の選択に向けて、栄養表示や健康的なメニューの提供する飲食店や栄養アドバイザーの知識・技術の向上に向けての研修や講習会も行う。ヘルシーメニュー推奨店の取り組みを契機に商店会の主体的な健康なまちづくりを支援する。						
	活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 日常的に外食に依存する働き盛りの健康的な食の選択を支援する環境が整備される。店の利用者のみならず、飲食店や地域の商店を営む人達の健康の維持増進も図る。ヘルシーメニューの需要増加が、商店会の主体的な健康づくり活動を喚起発展させ地域団体と連携し健康なまちづくりモデルとなる。						
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ヘルシーメニュー推奨店の認証 (2) ヘルシーメニュー推奨店への取り組み数							
		区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		店舗	47	41	60	50	60	60	83.3	
	活動指標(2)		店舗	96	70	60	63	60	60	105.0	
	成果指標(1)		%	50	58	80	65	80	80	81.3	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,941	1,431	2,071		1,359	2,211	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤   非常勤)		人	4.92	0.92	1.18	0.92	1.12			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	44,688	8,274	10,738		8,372	10,192		
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0	0		
	総事業費 ++		千円	46,629	9,705	12,809		9,731	12,403		
	単位あたりコスト ÷		円	992,106	236,707	213,483		194,620	206,717		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0		0		0
差引:一般財源 -		千円	46,629	9,705	12,809		9,731	12,403			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	83.3	活動指標(2)の16年度達成率%	105.0	16年度予算執行率%	65.6	再認証店に対するフォローアップを43店行ったが、各保健センター栄養士も新規ヘルシーメニュー推奨店の開拓の取組みを行ったため活動指標(2)は計画を達成できた。講習会等について、民間技術者講師による開催などにより予算執行率が低率となった。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		16年度より各保健センター栄養士も当事業に取り組み、新規ヘルシーメニュー推奨店の開拓をすすめた。それと並行して再認証店に対しての現状把握および正しい健康情報提供等のフォローアップを行った。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	主に商店会ごとに取り組み、ヘルシーメニュー推奨店を誕生させてきた。また、商店街全体の主体的な健康なまちづくり活動の発展に向けた企画運営を支援してきた。発足当初からITによるPR活動を位置付けていたが、地域の強力な支援者からの協力も受け、「すぎなみ地域ネット」等を活用した展開へと発展している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・食事内容だけでなく、禁煙などの環境づくりも行ってほしい。・(飲食店から)喫煙対策の説明を受けても、利用客のニーズや店内の条件などにより取組みはむずかしいという意見もある。・(ヘルシーメニュー推奨店から)他の店での取組みなどの情報がほしい。
	今後の予測	数が増えたヘルシーメニュー推奨店は商店会ごとに顕在化し地域住民に認知されやすくなる。ITによる普及が盛んになり、利用者層が拡大する。ヘルシーメニュー推奨店が互いに触発しあい事業の充実がはかられる。飲食店だけでなく健康をキーワードにおいた商店会単位の取組みも発展する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 働き盛りの男性などがヘルシーメニューを選ぶことで健康的な食事を摂る事ができ、生活習慣病予防や健康づくりには不可欠な要素である。また、生活習慣病が気になる人でも、栄養成分表示を参考に食事を調整することができる 理由または具体的内容:
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:健康的な食事提供に取り組むように飲食店に動機付けを行うことは行政の役割である。店の表示等、取組み後の表示追加などについては、受益者負担を行っていく。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:すでに最低限のコストで実施しているため。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( へ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( へ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容:栄養成分表示媒体作成に関する事務等について栄養アドバイザーとして協力を得ている。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( へ ) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取組み:健康的な食環境づくりの推進にむけて、飲食店、商店会だけでなく、地域の住民や団体との連携と協働を推進する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ヘルシーメニュー推奨店数を地域ごとに増加しながら、商店会ごとの健康なまちづくり(ヘルシーストリート)への働きかけを行う。認証後のヘルシーメニュー推奨店へのフォローアップ体制の充実をはかる。すぎなみ地域サイト等、ITを駆使した消費者の利用拡大のために、ヘルシーメニュー推奨店自身の主体的な活動を支援する。こうした活動が、健康的な商店街づくりにむけた他業種商店の取組みを引きだすとみとなるよう支援する。	
	(2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在の職員体制及び栄養アドバイザーの体制では、きめ細かいニーズ対応が困難である。地域の主体的な活動の活性化をテーマとしながら効果的な対応について検討することが必要である。	
18年度方針	(1)18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 各保健センター地域ごとの健康なまちづくりを視野に入れて、新規のヘルシーメニュー推奨店の推進を行う。 認証後のヘルシーメニュー推奨店に対しては、区民の健康課題として増えつつある働き盛りの肥満や生活習慣病予防への健康情報の発信を積極的に取り組む。 ITを通じた各ヘルシーメニュー推奨店の普及の充実にも支援を行う	

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健センター維持管理				整理番号	498		枝番号							
担当部課		荻窪・高井戸・高円寺・和泉・上井草保健センター		コード	150801・151101		連絡先電話番号	4512		昨年度整理番号	510					
係名 業務係		上位施策名								No						
予算事業名		保健センター維持管理		コード	450・49550・496		健康なまちづくりの推進				22					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業											
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等											
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所の設置に関する条例 (3) 杉並区保健センター条例											
	保健センターを利用する区民及び保健センター職員															
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		庁舎・設備機器・医療機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって快適な環境を整備する。											
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標												
		(1) 建物面積1㎡		(1) 不具合件数												
		(2) 保守委託契約件数		(2)												
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%					
			計画		実績		計画									
指標	活動指標(1)		㎡		5,893		5,893		5,893							
	活動指標(2)		件		51		51		43							
	成果指標(1)		件		60		52		50							
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円		66,690		53,011		62,059		54,533		62,547		<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 保健センター面積(単位:㎡) ・荻窪 = 1335.88 ・高井戸 = 1356.74 ・高円寺 = 1764.74 (分室含む) ・上井草 = 815.37 ・和泉 = 620.18 計 5892.91	
	(内)委託費		千円		33,331		29,908		32,976		28,309		30,026			
	職員数(常勤   非常勤)		人		6.45   0.00		6.38   0.00		6.65   0.00		6.01   0.00		6.01   0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円		58,585		57,382		60,515		54,691		54,691		
		非常勤職員分		千円		0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円		125,275		110,393		122,574		109,224		117,238			
	単位あたりコスト ÷		円		21,258		18,733		20,800		18,535		19,894			
	財源	受益者負担分		千円		279		232		254		245		230		
		国・都等からの支出金		千円												
		特定財源計 +		千円		279		232		254		245		230		
差引:一般財源 -		千円		124,996		110,161		122,320		108,979		117,008				
受益者負担比率 ÷		%		0.2		0.2		0.2		0.2		0.2				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		100.0		活動指標(2)の16年度達成率%		84.3		16年度予算執行率%		87.9				
		ISO14001に沿ったエコ職場としての意識定着が光熱水費等の削減に反映されてきている。また、日々の各種メンテナンスを実施することにより、安全で誰もが安心して利用できる設備運営ができています。														
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		出入口のスロープ改修による段差解消、手すりの設置、乳幼児にとって危険と思われる備品の危険防止対策(記載台の角を削る工事等)、トイレの環境整備等、各センターの実情に応じて備品の更新や設備の改修を行い、快適に施設利用できるようつとめている。														

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスの質やあり方にも変化が求められている。施設の老朽化に伴い設備修繕が多々発生し、修繕費の支出が増加の一途をたどっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	エレベーターの設置の要望、個人情報の管理についての関心が高まっている。
	今後の予測	国の個人情報保護法の全面施行やISMSを見据えての施設の整備が要求される。限られた財源、空間でどう工夫していくかが課題であるが、健診・相談事業、地域活動の拠点としての重要性は高く、十分な活動を行うためにもより一層の充実と徹底を図る必要がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診査や健康相談などのライフステージに応じた保健サービスを提供することは保健福祉の向上に欠かせない施設である
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 施設の老朽化の進行 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由: 地域保健法に基づく利用者または保健センター条例による利用者であり、使用料条例に基づく現在の受益者負担は妥当である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由: ISO14001環境目標に基づくマネジメントプログラムの更なる推進、施設保守管理の契約内容の見直しによる委託料の削減、有能な低コスト業者の発掘。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	理由: 理由または具体的内容: 庁舎清掃、庁舎警備、各種建物設備(冷暖房・給排水・消防設備・電気工作物・自動ドア)保守点検。各種医療機器点検・修繕。各種事務機器保守点検。会議室管理。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 現状維持

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 身障者用トイレの改善、洋式化、トイレ内のベビーチェア、エレベーター設置等、施設のバリアフリー化を引き続き検討していく。また、ISO14001に基づき、エアコンの使用を控え自然採冷を目的に網戸設置を行う。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 センターのこれまでの経緯や地域事情の差異を踏まえ、センター間の相互調整を図り、より良い施設を目指す。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 予算内で対応できる不具合については着実に対応して解決しているので、残された課題は中規模以上の改修工事である。また、備品についても耐用年数が来ている医療機器がある。